

明和印刷株式会社

■事業

お客さまへのサービスの向上をめざします

■対象類型

革新的サービス

■導入機械装置

サーマルディジプレートシステム TDP-580

経営理念

- 一、真剣
- 一、誠実
- 一、勇気

地域に密着した印刷業 顧客に応じて業務も幅広く

明和印刷は1971(昭和46)年に創業。書籍や官公庁の報告書など、「ページ物」と呼ばれる複数ページの印刷物を中心に、地域に根差した印刷業として発展してきた。1991(平成3)年に現在の場所に新築・移転。印刷業界がDTP(コンピュータ上で印刷物のデータを制作すること)化するのに合わせ、企画、デザインから製品が完成した後の情報発信まで、トータルに業務を広げている。

「宣伝したいことがあるが、どうすればいいかわからない」という顧客とは、相談しながら思いを具体化する。何をどう訴えるのか、どんな媒体が効果的なのかを検討し、冊子やチラシを提案。さらにクリアファイルやステッカーなども含め、さまざまな形で情報発信を進める。

印刷は自社工場で行うため、製本から納品までの速さが強みで、少部数にも対応している。さらに製本加工や、完成した商品の仕分け、梱包(こんぼう)、発送なども請け負う。すべて顧客の希望に対応する形で、業務内容を増やしてきた。印刷し納品して終わり、ではなく、受け取る人の手元に届くまでをサポートしている。

新システムで廃棄物を減らし、コストも納期も縮小 そのリソースを顧客サービスに注入

補助事業では、さらに顧客へのサービスを向上させるため、新たな製版機である「サーマルディジプレートシステム TDP-580」を導入した。独自の感熱方法により現像処理の必要がなく、印刷版以外のゴミが出ないため、環境への負荷が少ない。リボンやトナーなどの消耗品も不要で、製版材料代やメンテナンス作業費などが大きく削減できる。工程が減るため納期の短縮にもつながる。

そこから生まれた時間や費用を製作部門に投入し、顧客とのコミュニケーション能力をさらに向上させ、サービスの質を上げて還元したいという。

明和印刷では、自社の売上げだけを求めるのではなく、取引先や顧客、さらには地域全体で発展すること



自社で制作している社内報



1 サーマルディジプレートシステム TDP-580
2 デジタル印刷システムで顧客の要望に応える
3 社内の風景



を重視してきた。「さまざまな企業がそれぞれの立場で、お互いに繋がっている。だから、みんなで発展しなければ意味がない」。加本代表の考え方により、業界全体に厳しい時代が続き、同業者の廃業などが相次ぐ中、順調に売り上げも社員数も増やすことができた。

情報産業の一員として 幸せになれる情報を発信

自社から情報を提供することで、顧客にも情報を受け取った人にも「これを知ってよかった」「得をした」「幸せになった」と思って欲しいという。それが会社の発展にも繋がる。加本代表曰く「印刷業は地域社会と密接な関わりを持っている。これからも地域と共に歩みたい」。

今後は、紙に印刷するだけでなく、情報をさまざまな形で発信していくことを考えている。名簿のデータ管理など、印刷以外の仕事の割合が増えており、「印刷会社なのに印刷してないね」と顧客に言われるほど。2021(令和3)年に会社創立50周年を迎え、その記念事業として、会社のホームページをリニューアル。その中で、社員が撮影した風景などの画像を無料で素材として提供している。また、本年2022(令和4)年4月からはSNSも活用して、情報提供しており、社内報「明るい和通信」では町の紹介やレシピなども載せ、読んだ人が楽しめる冊子にしている。今後も地元の発展のために、地元の人に喜んでもらうために、その方針を守りながら、歩み続ける。

■Company Data

明和印刷株式会社



社屋

代表者名：加本克人
設立年：1971(昭和46)年
資本金：3,500千円
従業員数：11名
主たる業種：印刷・同関連業
本社：〒690-0822 松江市下東川津町61-5
電話：0852-22-3196
FAX：0852-22-3306
URL：https://meiwa-print.com

新製版システムで環境に優しく、コスト削減
顧客サービスの向上につながる